

# チャレンジ問題 十二月(師走)

月 日 名前 ( )

一

中学生の川名さんは、小学生に「二ひきの蛙」を朗読することになりました。次は、【朗読する物語】と朗読するために気を付けることを書いた【川名さんのメモ】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい

## 【川名さんのメモ】

- …朗読の仕方 of 工夫
- ▼…理由

○ 「黄色だね」のあとに間を取って、からかうような口調で読む。  
▼ はたけでばったりゆきあつた二ひきの蛙が、けんかを始めるきつかけになる言葉だから。

○ 高く大きな声で、勢いよく一気に読む。  
▼ けんかの勝負をつけることにこだわっている一方で、もうすぐ冬のやってくることを思い出して慌てているから。

○ 呼びかけるように、句読点ではっきりと区切って読む。  
▼ 待ちかねていた春が来て、土の上に出てみると、けんかの相手である黄色の蛙がまだ起きていなかったから。

○ 「わすれたか」の「か」を挑発するように強く読む。  
▼ 冬眠の前に「わすれるな」と言っていた黄色の蛙がのんびりと出てきたので、けんかのことを思い出させようとしているから。

## 【朗読する物語】

二ひきの蛙 新美 南吉

緑の蛙と黄色の蛙が、はたけのまんなかでばったりゆきあいました。「やあ、きみは黄色だね。きたない色だ。」と緑の蛙がいました。

「きみは緑だね。きみはじぶんを美しいと思っているのかね。」と黄色の蛙がいました。

こんなふうに話しあっていると、よいことは起こりません。二ひきの蛙はどうとうけんかをはじめました。

緑の蛙は黄色の蛙の上にとびかかっていきました。この蛙はとびかかるのが得意でありました。

黄色の蛙はあとあしで砂をけとばしましたので、あいてはたびたび目玉から砂をはらわねばなりませんでした。

するとそのとき、寒い風がふいてきました。二ひきの蛙は、もうすぐ冬のやってくることをおもいだしました。蛙たちは土の中にもぐって寒い冬をこさねばならないのです。

「春になったら、このけんかの勝負をつける。」  
↓  
「春になったら、緑の蛙は土にもぐりました。」

「いまいったことをわすれるな。」  
↓  
「いって、黄色の蛙ももぐりこみました。」

寒い冬がやってきました。蛙たちのもぐっている土の上に、びゅうびゅうと北風がふいたり、霜柱が立ったりしました。

そしてそれから、春がめぐってきました。土の中にねむっていた蛙たちは、せなかの上の土があたりかたくなってきたのでわかりました。

さいしよに、緑の蛙が目をさしました。土の上に出てみました。まだほかの蛙は出ていません。

「おいおい、おきたまえ。もう春だぞ。」  
↓  
と土の中にむかってよびました。

すると、黄色の蛙が、  
「やれやれ、春になったか。」  
↓  
と、土から出てきました。

「去年のけんか、わすれたか。」  
↓  
と緑の蛙がいました。

「待って待って。からだの土をあらいおとしてからにしようぜ。」  
↓  
と黄色の蛙がいました。





〔参考〕過去の調査における正答率

問題番号	調査の名称(実施学年)	正答率 (%)
一	平成24年度 全国学力・学習状況調査(3年)	62.7
		35.0
		60.4

〔参考〕出題の趣旨

一	<p>物語を朗読する際に、次のことができるかどうかをみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物語の展開や表現の特徴を捉えること</li> <li>・物語の場面の展開を捉えること</li> <li>・物語の内容や登場人物の言動の意味などを捉え、自分の考えを書くこと</li> </ul>
---	--

〔参考〕解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率 (%)	自校の反応率	正答	
一	1	・1と解答しているもの	2.0		
	2	・2と解答しているもの	28.2		
	3	・3と解答しているもの	6.3		
	4	・4と解答しているもの	62.7		◎
	9	・上記以外の解答	0.1		
	0	・無解答	0.7		
	二	1	・1, 3, 4と解答しているもの	35.0	
2		・1, 4と解答しているもの	50.6		
9		・上記以外の解答	13.7		
0		・無解答	0.6		
三	<p>(正答の条件)</p> <p>次の条件を満たして解答している。</p> <p>① ○に、朗読の仕方の工夫を適切に書いている。 * ○に、物語についての解釈などが含まれている場合は、物語の内容及び▼の内容と照らし合わせてその記述の適否を判断する。</p> <p>② ○は、十五字以上、三十字以内で書いている。</p> <p>③ ▼に、物語の内容を正しく理解した上で、物語の中の言葉を使って、朗読の仕方の工夫の理由を適切に書いている。</p> <p>④ ▼は、四十字以上、六十字以内で書いている。 * ○だけ解答している場合は、(正答の条件)①、②を判断し、解答類型6か解答類型9とする。</p> <p>(正答例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・○ さわやかな気分が伝わるように、高く大きな声で読む。(26字)</li> <li>▼ 緑の蛙も黄色の蛙も池の水で泥土を洗い落としてきれいになり、体だけかえるではなく気持ちもさっぱりしたから。(50字)</li> <li>・○ 「きみの黄色は」のあとに間を取って、穏やかな声で読む。(28字)</li> <li>▼ よく眠って体を洗ったあとでは機嫌がよくなり、黄色の蛙が美しく見え、けんかを続ける気持ちがなくなったから。(53字)</li> <li>・○ 「やあ」を伸ばして読み、「美しい」は強く読む。(24字)</li> <li>▼ 体に付いた泥土を洗い落とした黄色の蛙の姿を見て、その美しさに素直に感動したから。(41字)</li> <li>・○ 感心したように、ゆっくりと読む。(17字)</li> <li>▼ 出会ったときは「きたない色だ。」と言っていたのに、目を覚ましたあとは目をぱちくりさせながら「美しい」と言っているから。(60字)</li> </ul>				
	1	・条件①, ②, ③, ④を満たして解答しているもの	60.4		◎
	2	・条件①, ②, ③を満たし、条件④を満たさないで回答しているもの	1.5		
	3	・条件①, ②, ④を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの	7.8		
	4	・条件①, ③, ④を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	0.3		
	5	・条件②, ③, ④を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの	6.6		
	6	・条件①, ②のみを満たしているもの(▼には記述がないもの)	2.0		
	9	・上記以外の解答	8.7		
	0	・無解答	12.8		